

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	広域行政	コード	作成者	役職	課長
		06-01-03		氏名	中野新吾
			電話	64-1871	
			このシート作成に要した時間	1.5 時間	

この施策のアピールポイント	兵庫県赤穂市、上郡町と「東備西播定住自立圏」を形成し、圏域の活性化に繋がる各種事業を2市1町で連携して実施している。
---------------	--

この施策の平成24年度の施政方針	
------------------	--

< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標(大項目)	健全で自立したまちづくり
	基本施策(中項目)	簡素で効率的な行財政運営
対象と目的 (誰のために、何のために)	圏域住民の人口流出を防ぐため、2市1町で暮らしに必要な都市機能や生活機能を確保し、互いに連携・協力することにより、圏域全体の活性化を図る	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	東備西播定住自立圏共生ビジョンを策定し、地域医療連携、生涯学習の推進、産業振興、公共交通、ICTインフラ、交流促進、職員交流の分野で事業連携に取り組んでいるが、市民生活の利便性向上につながる事業が少ないため、今後は市民の生活機能の強化に取り組んでいく必要がある	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 施策ごとに有効な圏域連携と共同事務処理の推進 圏域内行政機能の充実・強化 圏域連携のための圏域バスの運行 圏域住民の診療支援 	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H22	H23	H24			H25	H28
成果指標 圏域バス備前ルートの利用者数(吉永病院~イオン赤穂)	目標				4,000	圏域バスの開始は平成24年3月5日のため24年度から目標値を設定	H25	4,500
	実績		309		3,897		H28	6,000
	達成率	%			97.4		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 定住自立圏関係事業参加率	目標	%	50.0	50.0	50.0	定住自立圏関係事業参加者数/圏域住民基本台帳人口	H25	75.0
	実績	%	45.8	49.2	69.4		H28	80.0
	達成率	%	91.6	98.4	138.8		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 定住自立圏で行っている連携分野の数	目標	分野				地域医療連携、生涯学習の推進、産業振興、公共交通、ICTインフラ、交流促進、職員交流	H25	7
	実績	分野	7	7	7		H28	8
	達成率	%					-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標	目標						H25	
	実績						H28	
	達成率	%					-	-
	ベンチマーク						-	-

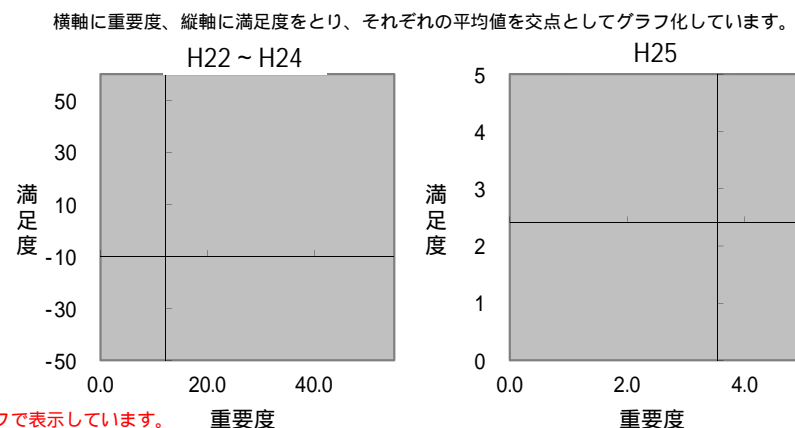
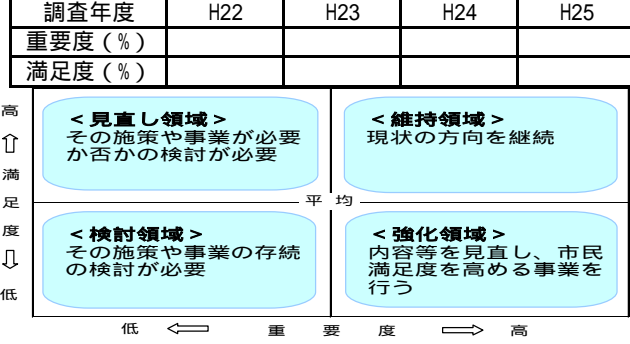
目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い				
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)				
1	<成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	事業分野での成果は計れるが市民生活の利便性の向上度が把握しにくい			
2	<事業構成の適当性> 手段は最適か?	2	環境部門、福祉部門での事業連携ができていない			
3	<施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	2	環境部門、福祉部門での事業連携は見通しが立っていない 圏域バス本格運行の条件(市町村を越える利用者は1便当たり1人超、かつ1日当たりのバス総利用者数1人以上)は満たしたがハードルが低い。持続可能な運行に向けての利用促進が必要である			
進行年度(H25年度)の取組内容(課題解決状況)		赤穂市民病院の圏域内住民の助産料差額をなくするとともに、圏域バス(吉永~赤穂、上郡~赤穂)の本格運行を決定している 共生ビジョンの期間は平成22年度~26年度であり、来年度が最終年度となることから、この事業が本市の市民にとってどのような効果(生活利便性の向上)があったのかを検証し、27年度以降の方針を検討する				
翌年度(H26年度)の取組目標		検証結果に基づき平成27年度以降の方針を決定する				
二次評価者コメント		圏域の交流イベントも広がりみせ、圏域バスの運行、助産料の格差是正など成果もあがりつつありますので、継続してください。				基本施策への貢献度 3 中立
役職 総務部長 氏名 三村 功						

市民意識調査による施策の重要度・満足度



H25から数値の採取方法を変更したため、別グラフで表示しています。

調査結果に対するコメント、市民の反応等	定住自立圏構想での事業を身近に感じている市民は少ないが、赤穂市民病院の室料差額や分娩費用の相違についての指摘がある(赤穂市民病院では市外住民は室料差額や分娩費用が高額となっている)
調査対象でない施策は、市民の反応等	

